

パラグアイ内政・外交報告（6月分）
政治情勢

2019年7月作成

1 内政

（1）経済活性化案の発表

10日、パラグアイ政府は公共インフラ投資、雇用、社会保障の各分野に即時対応するために約15億米ドル規模の政策を実施する旨を発表した。実施額の内訳では、①5万人の雇用を可能とするインフラ投資に11億米ドル、②社会保障分野に1億1,451億米ドル、③雇用、製造業、商業の支援に2億5,400米ドルが見込まれている。本政策により15万人が受益する見込み。

2 外交

（1）アロン・マルティ裁判でのパラグアイ政府勝訴

4日、米州人権裁判所は、アロン・マルティ事件に関する裁判において、パラグアイ政府を支持する判決を出した。14日、伯難民認定機関（CONARE）アロン及びマルティの難民認定を取り消す旨決定した。

（2）アブド・ベニテス大統領のボリビア訪問

12日、アブド・ベニテス大統領は二国間閣僚政府会合が実施されたボリビアでモラレス・ボリビア大統領と首脳会談した。また、カスティグリオニ外相及びソト国防大臣は、パリ・ボリビア外相及びサバレタ・ボリビア国防大臣と第5回2+2会合を実施した。また、各省庁及び経済団体はボリビアのカウンターパートとそれぞれ合意文書を取り交わした

（3）カスティグリオニ外相とイタリア外相との会談

25日、カスティグリオニ外相は、訪問中のイタリアで、モアヴェロ・ミラネージ・イタリア外務・国際協力大臣と会談した。両外相は、本年2月にモアヴェロ・ミラネージ大臣がパラグアイを訪問して以来、政治、経済、貿易、文化といった分野での関係が強化されている旨強調した。またEUメルコスール貿易交渉につき意見を交わした。

（4）EUメルコスール貿易交渉政治合意

28日、パラグアイ外務省は、同日のEU・メルコスールFTA交渉の妥結を受けてプレスリリースを発表した。プレスリリースでは、「メルコスール及びEUは、貿易、協力、政治的対話の方向性を示す野心的で、バランスのとれた、幅広い二地域間合意の交渉を妥結する政治合意に達した。本協定により、二地域は、歴史・文化関係に基づく戦略的な政治経済同盟を確固たるものにし、明確で、透明性を有し、国際貿易の基準を満たした規則を通じて、経済貿易関係の成長のための将来の大きな機会を創出することになる。」と述べられている

る。今後は本協定の両地域の公式言語への翻訳とともに、最終文書の法的精査が実施される。

(5) 米州司法委員会選挙でのパラグアイ人再選

30日、コロンビアで開催された第49回米州機構（OAS）定例総会における米州司法委員会選挙で、ホセ・アントニオ・モレノ氏が再選された。

3 要人往来

(1) 来訪

- モロ伯司法相, ブーリッチ亜治安相 (組織犯罪対策に関する共同作業について協議)
- リャブコフ露外務副大臣 (公式訪問)

(2) 往訪

- カスティグリオニーニ外相, スペイン・マドリッド (公務)
- クラメル商工相, 米・マイアミ (第40回ラテンアメリカ商工会会議出席)
- ロペス財相, 伯・ブラジリア (公務)
- ロメロ女性相, 亜・ブエノスアイレス (第13回メルコスール女性大臣及び女性政府高官会議出席)
- ベラスケス副大統領, ロシア・サンクトペテルブルグ (国際経済フォーラム出席)
- バシガルポ労働相, スイス・ジュネーブ (第108回国際労働機関会議出席)
- カスティグリオニーニ外相他, ボリビア・ラパス (大統領ボリビア訪問に係る事前準備)
- ペッタ教育相, 亜・ブエノスアイレス (第54回メルコスール教育大臣会議出席)
- クラメル商工相, ボリビア・ラパス (大統領訪問同行)
- マッソレーニ厚生相, 亜・バリローチェ (メルコスール厚生大臣会議)
- アブド・ベニテス大統領, ボリビア・ラパス (二国間会談)
- クラメル商工相, 台湾・台北 (企業ミッション・企業誘致)
- ソト国防相, 亜 (公務)
- カスティグリオニーニ外相, イタリア, ベルギー (国際連合食糧農業機関 (FAO) 会合出席)
- ペッタ教育相, 米・フィラディフィア (Internacional Society for Technology in Education 出席及び教育機関視察)
- クラメル商工相, ベルギー・ブリュッセル (EUメルコスール FTA 協議出席)